

二 津邊 作戰
於ケル

独立歩兵第三大隊方中隊決算資料

昭和二十三年三月五日
第三軍後務部整理

北川軍校...
民國二十九年...

一編成

獨立步兵第一中隊長

全 第一中隊長

全 小隊長

全 第二小隊長

全 第三小隊長

全 指揮班

陸軍少尉 田島

陸軍中尉 山本

陸軍少尉 野村

陸軍少尉 井本

陸軍中尉 堀

陸軍少尉 堀

第一中隊長 中尉 他百二十七名 東部第二中隊長 中尉

昭和十九年十月三十一日編成完了

昭和十九年十一月五日 街成地出發

昭和十九年十一月五日 門司港出發

四月十日軍命令依リヲ嘉手綱方面ニ本軍ノ進出ヨリ期ニ
總攻更ヲ行フ大本營ノ強要ニ依ル攻更ナリシテ各部隊足並
不揃吉カチモ三大隊ノ戦攻更ノ如キ形トナリ
同月十三日午前三時頃七二高地ヲ約五〇〇米高敷高地背
前ヲテ第三三大隊ノ部隊長下田大尉以下三百有餘名ハ死傷
ニ部隊ハ全滅セリ

(五) 部隊長下田大尉戦死中隊長秋山中尉戦死残りハ員傷者
トナリ其ノ收容ニ致シテ経過セリ
今日十七日午後勤務者及ビ輕傷者全身上原中尉ノ指揮ニ
前線ニ出勤爾後毎日相当數ノ死傷者ヲ出シ一日トスガ
減少スルノマテリ

(六) 五月十日石兵團ノ命令ニ依リ輕傷患者全員ヲ同兵團ニ
差出シ各隊既展ヲ命ゼラレ秋小隊ハ片野中尉以下モ之
同第十五大隊第十四大隊ニ既展 首里地ニ防衛戦ニ參
セルモ全員五月二十日前後ニ戦死セルモノ知シ

(七) 重傷者ニテ治癒セル者ハテ中隊長清水中尉ノ指揮下ニ
入リ石兵團第三野戦病院ノ擔取補助隊トシテ 運送ス
以首里地ニ撤退後全員傷者ハ野戦病院ト共ニ行動セリ
(八) 秋小隊(第一中隊)トシテ、部隊行動団体的ニ行動ハ首里地ニ撤
退シトス

(九) 五月十日以降ハ數ハ數人宛ニ団トナリ他部隊ト行動ヲ共ニ
之ノ要スルニ (註以下述アルハテ小隊長 加藤中尉ノ指揮ニ依ル
大本營ノ命令ト稱シテ行ハレツ作戰ハ神邊ニシテ橋板以下
全員如何ナル意圖ノ下ニ何レノ向ニ前進セシヤ全然コソ地
理不明ノ所ニ戰鬪偶発的ニ起リ未ダ小官ノ知悉ハ如何ナル
意圖ノ下ニナレリヲ不知 偶發戰ノ小戰鬪ナル爲メ其ハ多
數トシテ奮闘スルノマテリ 効果ナク天皇陛下萬歲ヲ絶叫
シテ倒レルマテリ 返スルモ遺憾ナリ

以上

十九年十二月十五日 那霸港出港 同月同日 真和志町識見

附近伊豆真國場 三年三月廿五日 大里町目取浦 廿年四月一日

野邊村西原附近 戰斗三參加 同年四月十日 同村嘉敷西

方七〇高地 戰斗三參加 同年同月二十九日 不明 師係村仲

同附近 戰斗三參加 同年同月廿五日 昔擇城附近 戰斗三參加

同年同月〇日 望坡菜西端高地 戰斗三參加

同年同月〇日 首里同對市附近 戰斗三參加 同年同月〇日

首里市辨嶽 戰斗三參加 同年同月〇日 眞和志町識見

附近 戰斗三參加 同年同月 日阿波根附近 戰斗三參加

同年同月〇日 摩文仁林本須 同年三月四日 寺屋武附上金

附近 戰斗(山城)三參加